

No.655 (改題615号)
2024年
11月13日(水)

新社会兵庫



週刊 新社会

発行所: 新社会党
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-10 三成工業ビル3F
TEL. 03(6380)9960 FAX. 03(6380)9963

新社会党兵庫県本部 神戸市中央区中山手通5丁目2-3 ☎078(361)3613 FAX078(361)3614 毎月第2、第4水曜日発行 購読料月400円(1部200円)郵便振替:01120-7-16805

対話と信頼で新しい兵庫を
いなむら和美さん力強く訴え



出発式で訴えるいなむら和美さん=10月31日

異例の知事選がスタート

自身のパワハラ疑惑などの内部告発文書問題で全会一致で不信任決議が可決され、知事が失職するという異例の事態に伴う兵庫県知事選は10月31日告示され、17日間の選挙戦が始まった。今回の知事選の焦点は、何よりも前知事の問題で混乱し停滞した県政を立て直し、県民にとっては暮らしやすい県政を、職員にとっては働きやすい環境を築くことができるかどうかだが、知事選には再選をはかる前職ら7人が立候補。新社会党兵庫県本部は、県政を立て直しのためにと多方面からの要請を受けて立候補を決定した前尾崎市長のいなむら和美さんを「勝手連」的に支援している。

いなむら和美さんは 止符を「との強い思いから」県政の混乱と停滞に終ら第一声を県庁前であげ

たあと、出発式は事務所近くの阪急三宮駅の北側で行った。出発式には党派を超えて国会議員、県議員、市長をはじめ、支持する団体の関係者や市民ら大勢の人たちが応援に駆けつけ、応援の輪の広がりを示した。熱い応援エールを受け、いなむら和美さんは力強く決意と公約を訴えた。「今こそ、県政の混乱に終止符を打ち、皆さんと一緒に新しい兵庫をつく

っていききたい。皆さんと共につくりたいのは、県民の声が届く風通しのよ

いなむら和美さんを激励
雨中の市民集會に150人

10.29

知事選の告示日を2日後に控えた10月29日夜、「ともに新しい兵庫を市民のつどい」が神戸市内で開かれ、雨の中、約150人が参加した。「県政の混乱に終止符を打つ」と立ち上がったいなむら和美さんを応援しよう」と企画されたもの。集會は呼びかけ人の一人、丸山裕子さん(アイ女性会議ひょうご)の司会でスタート。他の日程の都合で集會の冒頭であ

いさつに立っていたいなむら和美さんは、「皆さんの応援を得て、県民との対話と信頼で新しい兵庫の実

現を目指す」と述べ、①知事や副知事、議員も対象のハラスメント防止条例の制定、②子育て支援交付金(仮称)の創設、③児童相談所の機能強化、D.V被害者への支援など福祉の充実、④人権が尊重される社会の構築など、10分間にわたって重点政策を発表した。

これに励めるように、部落解放同盟兵庫県連や県退職者の代表をはじめ市民運動グループなどから応援のエールがおくられた。(鍋島)

近頃の阪急三宮駅の北側で行った。出発式には党派を超えて国会議員、県議員、市長をはじめ、支持する団体の関係者や市民ら大勢の人たちが応援に駆けつけ、応援の輪の広がりを示した。熱い応援エールを受け、いなむら和美さんは力強く決意と公約を訴えた。「今こそ、県政の混乱に終止符を打ち、皆さんと一緒に新しい兵庫をつく

集會は、上原康夫弁護士や小西達也医師ら9氏が呼びかけ人となって勝手連的に開かれたもので、呼びかけ人を代表してあわはら富夫神戸市議は、「前知事の再選を許してはならない。力を合わせ



いなむら和美さんを応援しようと9人の呼びかけ人で「勝手連」的に開かれた市民集會=10月29日、神戸市

第50回総選挙

自民大敗 自公過半数割れ
改憲勢力は3分の2以下に

10月15日公示、27日投票で行われた第50回衆院選は、自民党派閥の裏金問題などへの有権者の怒りは大きく、自民は大敗し、自公の与党は過半数(233)を大きく割り込む結果となった。裏金問題に閣内非公式認になった議員を取り込んで過半数には達せず、連立政権の枠組みさえ見通せない状況がつけられた。一方、自民党への怒りの受け皿となった立憲民主党や国民民主党は大幅に議席を増やした。投票率は53.84%だった。

その他では、維新は大阪の19小選挙区では全勝したものの議席を減らし、共産党も議席を減らした。新社会党が比例区で支援した社民党は1議席は維持したが、得票率も下げ

井坂信彦さん



桜井周さん



岡田悟さん



橋本慧悟さん



議席増はならなかった。議席を増やしたのは、れいわ新選組と参政党で、日本保守党は新たに国会議席を獲得した。ただ、自民、公明、維新、国民、参政、保守を改憲勢力として括ってみても3分の2には達せず、手放しでは喜べないが、このままでは改憲議論はできない状況も生まれた。石破政権が維持できるかどうかも見通せないなかで、今後の政治動向は複雑ならざるをえないが、注目しなければならぬのは「保守化」傾向を強める野田執行部が率いる立憲民主党の今後の政治

【党派別当選者数】

Table with 4 columns: Party, Candidates, Small Districts, Proportional Districts, Total. Rows include Liberal, Constitution, Shinshin, National, Komei, Reiwa, Seisan, Seisan, Hoshu, Shimin, Unaffiliated, etc.

※「公示前」の無所属には、自民の「裏金問題」に閣内非公式認になった議員を含む

- 推薦候補の結果
1区 井坂信彦(立・前)
9区 橋本慧悟(立・新)
4区 今泉真緒(立・新)
7区 岡田悟(立・新)
5区 田村直也(立・新)
6区 桜井周(立・前)
8区 小村潤(共・新)
9区 橋本慧悟(立・新)
10区 隠樹圭子(立・新)

水脈

新聞協会は10月15日から21日までの1週間を「新聞週間」と定めている。報道

の使命と責任について広く理解を求める機会とするため、新聞記事によると、新聞発祥の地である横浜市に日本新聞博物館「ニュースパーク」があるそう、ネットで検索してみた。館長は大学で憲法を専攻していた尾高泉さん、女性である。民主主義の維持には報道の自由を守ることが大事だと考え、特定の新聞社ではなく新聞協会に就職したそう。今、購読料の値上げやネット社会へと変化するなかで読者は減り、新聞に触れることのない子どもたちも少なくない。館では全国120紙の新聞を使って様々なワークショップを展開し、若者への新聞PRや教育事業などにも取り組んでいる。新聞を活用した教育実践の中に、神戸市立鶴甲小学校の「平和学習」の取り組みもあった。ネットでは膨大なニュースが駆け巡り、調べたいことを知るには手取り早い、やっぱり新聞だ。まず1面見出しが目に入る。めくると国政、世界の動き。身近な地域版も知っておきたい。読者の投稿にも頷く。時には切り抜きをして保存もする。一日の始まりに必須な物だ。本紙も商業紙には無い大事な情報発信に努めている。

精神科病院の長期隔離で死亡 両親が病院側を提訴

支援に「初田竹重さんの人権回復を求める会」発足



第1回期日後の報告集会で発言する初田竹重さんの父の毅さん＝10月23日、神戸市中央区

明石市魚住町の精神科病院「明石土山病院」に長期間の隔離と病院側の入院していた初田竹重さん。不注意が原因だとして、

加西市の両親が8月26日、病院を運営する医療法人社団正仁会を相手取り、約5700万円の損害賠償を求めて神戸地裁に提訴した。

提訴後に会見した父の毅さん(81)は、「長期の隔離は正当な医療を受ける権利を侵害している。二度と息子と同じような人が出てほしくない」と訴えた。

竹重さんは統合失調症で2019年5月に医療保護入院、翌6月に隔離が始まり、2年後の2021年4月14日、隔離室

内で朝食のパンを喉に詰まらせ窒息死した。3畳ほどの隔離室は外から鍵がかかれ、亡くなる前の128日間は終日隔離されていた。本人も、両親も、隔離室から出してほしいと再三求めていたという。

こうした中、提訴した両親を支えていくため、加西市内の精神保健福祉関係者が原告を支援する団体「初田竹重さんの人権回復を求める会」を9月14日に設立、10月6日、加西市内で第1回集会が開かれた。支援団体

総がかり行動兵庫 12・3に憲法集会

戦争させない、9条壊すな！総がかり行動兵庫実行委員会は、今年秋の兵庫憲法集会を12月3日に開催する(開催要項は別記)。

は裁判を通じて精神医療の改善を訴えていくことにしている。裁判は10月23日、第1回期日が神戸地裁で開かれ、母の三千子さんが意見陳述した。当日は傍聴(戸田

とその後の報告集会上に支援者ら約50人が参加した。会では支援を広げるために(会員を募っている。第2回期日は12月17日、リモートで行われる(傍聴はなし)。(戸田

改憲の動きをウォッチング

改憲勢力「3分の2」に届かず 現状での国会発議は不可能に 10月27日投票の総選挙で改憲勢力(自民党、公明党、日本維新の会、国民民主党、参政党、日本保守党)が獲得した議席数は287で改憲発議に必要な3分の2(310)に届かなかった。

一方、立憲野党は166議席で3分の1を獲得。改憲勢力は無所属の改憲派議員を含めても3分の2を下回る。安倍政権以来の自民党の傲慢な「1強政治」に対する審判で、石破首相は、在任中の発議を目標とするものの、大きな壁が立ちほだかたことになる。

総選挙の結果 自公惨敗 傲慢な自民「1強政治」に終わりを告げる 真金問題に象徴される金権腐敗政治への厳しい審判が下された。自民党と公明党の与党は15年ぶりに過半数を割り込み惨敗した。

真金政治への国民の不信と怒りがいかに大きかったかを示している。さらに、国民の怒りの元に、

**戦争させない、9条壊すな！
12・3兵庫憲法集会**
●12月3日(火)18:30～
●長田区文化センター・大会議室
●講演「自衛隊で今何が起きているか、何をしているか」
講師:吉田維一弁護士
●参加費500円

市民と野党の長田共同アクション講演会
「戦争ではなく平和の準備を」
青井美帆・学習院大学大学院教授
●11月24日(日)14時
●長田区文化センター大会議室
とめよう！原発依存社会への暴走
関西包囲大集会
●12月8日(日)13時・関西電力本店前
※集会後、大阪駅までデモ(16時すぎ解散)

私の主張

総選挙は、自公が過半数を割る結果となった。自民党は真金議員の一部を非公認とするなど、選挙で不利益に繋がる懲罰的措置を取ったはずであったが、こっそり1人2千万円の活動費を配る等、公認議員と同じ扱いをした。それが有権者の「今度ばかりはお灸をすえる」選択であり、公明党も同様に、である。

与党の過半数割れは、従来は投票率の高まりと共にあった。しかし、今回は、戦後3番目に低い投票率(53・85%)で起きた。2人に1人が「どうせ変わらない」と、冷やかに背を向けたままだ。

立憲民主党は、小選挙区では、自民対立憲の一騎打ちの構図で優勢になり、比例重複による議席獲得も含め、議席を伸ばしたが、比例票における立憲票はわずかに7万票増にすぎず、立憲民主党という政党への支持が増えたのではない。比例票で自公はそれぞれ53万、115万の計64万票を減らした。その票の行方は、安全保障政策で踏み込んで憲法改悪を方針化している国民民主党35万7千増、参政党18万7千増、保守党14万の計65万8千票に重なる。維新は、党内のゴタゴタも垣間見えて、

大阪ではマスメディアを味方につけることができても「身を切る改革」を叫ぶだけの政策は全国には通用せず、296万票減らした。憲法改悪に歯止めをかけるべき議席は、共産党が2減の8議席(比例80万票減)、社民党は1議席死守(比例8万票減)である。

問われる立憲民主道の進路 戦争と改憲許さない勢力を

2人に1人が捨てているのだから。生活に問題がないからと考えている人は、恐らく一握りに過ぎないだろう。われわれが納税した金の使い道は、政権が何を大切にしているかを可視化する「予算」で問われる。真金作りにも議員や政党には、われわれ庶民の暮らしが目に入っていないから、彼らが編成する予算は、労働者を人として大切にしない雇用環境、労働環境の改善がない。1人の人間がこの社会で生きていくことを支えるさまざまな社会保障費は削減の対象だ。

来年の参議院選挙は、憲法を生かすこととこそが平和につながる主張する議席を、何としても増やさなければならぬ。改憲を許さない議席と市民や労働者が議会の内外で連携できるように、運動を強化しなければならぬ。新社会党は正康参議院選比例予定候補を先頭にたたかう。あきらめてなんかない。戦争に踏み込む時代を作ってはならない。

岡崎宏美(新社会党中央執行委員長)

ウクライナ、ガザの戦争をテーマに 西谷文和さんの講演会開く

憲法を生かす会・西神戸連絡会

ジャーナリストの西谷文和さんの講演会が、憲法を生かす会・西神戸連絡会の主催で10月20日、長田区文化センターで開かれ、80人が参加した。主催者がつけた講演のタイトルが「21世紀の今、なぜ戦争か?」西谷文和が見たウクライナ、ガザそして日本。



西谷さんの講演は万博問題にも及び、今ならまだ万博もカジノも中止は可能だと訴えた＝10月20日、神戸市・長田区文化センター

西谷さんは、前の週にイスラエルとヨルダン川西岸地区を現地取材したばかりだった。取材映像の整理中とのこと、映像は生々しい。そして、迫力一杯。ユーモアを交えながら参加者を引きつけた。

西谷さんの現地取材は基本的に単身で、現地の通訳と行動している。その身軽さもある、日本の大手メディア記者が訪れない地域に足を踏み入れている。今回も、西岸地区の悲惨な実態が映像で紹介された。

アフガニスタンで活躍し、現地で銃弾に倒れた哲さんと西谷さんは交流があった。タリバン政権になっても引き継がれている事業に「平和を築くのは武力ではない」ことを実践で示した活動を紹介した。

を起させざるものは、中間層の無関心だ」と指摘し、紛争の解決には「日本国

憲法第9条の輸出だ」と訴え、講演を終えた。(佐野修吉)

非正規問題等で講演と交流

禿あや美さん(埼玉大学)が講演

第27回働く女性の交流集会

住民への公平な機会の保障のためと、毎年、公募と試験がされ、経験や熟練は考慮されない実情や病欠休暇や短期介護休暇の無給が続いている実態が報告された。

社保労連からは、労働組合を身近なものにと、組合員同士の交流やB・B交流会、子育て中の組合員向けのママパパ交流会などの企画の工夫が報告された。



講演では職務の価値を明確にするものさしと目盛りの必要性と労働組合の力の重要性が強調された＝10月26日、神戸市中央区

「戦争は利権争いであり、万博も同じ」と話題を万博問題に転換。万博も、カジノも、まだ中止は可能だと訴えた。

西谷さんは、「AかBか」で対立するのはなく「C」という解決策があるはずだ。とくに戦争

第27回働く女性の交流集会が10月26日、神戸市内で開かれ、職場報告や講演が行われた。

臨職評からは、勤勉手当が正規職員と同じ支給率になった成果の一方、

その中で、各市町によって「労働条件が違ふ」とか「人事評価がある」とは知らなかった」など、知らされていないことも明らかになった。また、

「職務評価」について、職務の価値を明確にするものさしと目盛りが必要だと詳しく紹介された。

東京での調査では、職務評価は正規100に対して、嘱託職員88で、賃金比率は58。臨時職員(会計年度職員)は63・5で、賃金は31。かなりの引き上げが必要だ。

正規職員の働きすぎと非正規職員の不安定、低賃金の是正には、同時に交渉・条件向上の取り組みが必要であり、労働組合の力が重要なことが提起された。(小城)

地域ユニオン あちこちあれこれ

豊岡を起点に、西は浜坂、南は丹波篠山市から10単組、25人(ユニオン11人、臨職評14人)が参加して、10月27日午後、

豊岡市民プラザで自治労但馬・丹波ブロック臨職評と但馬、たんば両ユニオンで「但馬パート集会」を開催した。

この交流集会を、但馬ユニオンとして開催していく契機となった理由は2つある。

楽しく交流し、絆を深める第二歩を築く

「最賃引き上げ」のピラ配布で豊岡臨職評の仲間と共に行動してきたことである。その行動の感想として、臨職評の仲間から「但馬の地と同じ方向

「壁」を経験したことで

交流集会は、但馬、たんばユニオンの活動報告とユニオンの参加者の自己紹介から始め、続いて、臨職評からは各単組の活動報告を受けた。

職場環境を一緒に改善しようとか、損をすることがないように「組合加入」を勧めても、組合費がいりとか、「加入してないくても恩恵は受けられる」

は足りなくなった。その後、ビンゴゲームで楽しい時間を過ごした後、但馬ユニオンの加藤委員長の集会集約で「各単組の今後の活躍と交流

この交流集会を象徴する印象的な発言として、但馬ユニオンの元委員長が会場に入ってきた。参加者の数を見てあげた「えっ」という驚きの声や、「ユニオンの取り組みでこんなに多く集まったのは初めて」という自己紹介での発言は紹介しておきたい。

岡田一雄(但馬ユニオン書記長)

2024年ぴいふる年末商品ご案内

短い秋から年末へ。続く物価高にため息の多かった1年も締め括りの季節を迎えています。今年の年末商品には、新しく米沢食肉公社製のギフトセットが仲間入り。お試しください。カニは高騰が続き、取扱量も限定的ですが、やっぱりカニだとのお声に応えてご用意しました。

カニすきセット(宅配便のみ)

(専用出汁付き)

3L・5肩(1.3kg)
13,000円



上すきポーション3L(1.0kg)
11,000円



米沢食肉公社のギフトセット3種(宅配便のみ)

米沢牛味わいセット
5,400円



牛鍋丼の具 ハンバーグ
(賞味期限90日 冷凍)

こだわり山形県産豚セット
3,240円



ガーリック味のトンテキ 酒粕仕立ての西京漬け 特製豚もつ煮込み
(賞味期限90日 冷凍)

カルパスセット
4,320円



4種類のカルパスセット 特製豚角煮
(賞味期限120日 常温)

●その他、例年通りの商品もご用意しています。宅配料など詳細はチラシをご覧ください。
●お申込み締め切りは、12月5日(木)正午です。お早目のご注文をお願いします。

(有)ぴいふる

電話/ファックス 078(531)0135



おんなの目

韓国の日本軍「慰安婦」水曜行動に連帯し、月に1回姫路駅前で日本軍「慰安婦」を知らせるビラまきが行われている。姫路労音の関係者2人が主催している。かれこれ15年続いている。ビラは関西ネットワークから情報を得て毎回新しく作られる。

私は2015年の日韓合意に激しく怒って以来、毎回参加している。この日韓合意とは、簡潔に言えば、安倍政権が元慰安婦とその支援者を黙らせると韓国政府に10億円渡したものである。当時の日経新聞に、たかだか10億円で韓国政府に黙らすことを約束させた安倍政権はよくやったと書かれていた。それを読み、私は心底怒った。

ニュースで慰安婦や徴用工が話題にならないと、人はとても無関心だ。それがひとたびニュースになると、たちまち攻撃的になる。私は叩かれたことや、持っていたビラの束を叩き落されたこともある。言葉の暴力も何回も受けた。近寄ってくる人がビラを取るためか暴力のためかわからず、身構えてしまうこともある。そして、「この活動するのは韓国の人だから？」と、真顔で尋ねる人や、わざと言う人もいた。

私は日本人だからこそ、自分の先祖たちの加害行為を糾弾するのは当然なことではないか。

「慰安婦」への真の謝罪とは

書なのだから、取り組まなければならぬ活動だと思ふ。たとえ不都合な真実でも、歴史を修正し、あったことをなかったことにして、どこに矜持を持てというのだろうか。そして、一方で、この問題は日本対韓国の問題なのだろうかとも思ふ。どこの国であれ、どんな人であろうと、非人

福童さんは起床し身支度を整える。化粧水を丁寧に塗り、櫛で髪を撫で付ける姿は、真冬に匂う水仙の花のように、凛として美しかった。

彼女は安倍晋三の言う「最終的不可逆的解決」に大きな期待を寄せていた。加害国の首相が過去を詫げるために国を代表して自分たちに会いに来てくれるのだと。それが、会いにくるどころか、和解癒やし財団という第三者機関を作り、金だけ与えるというものだった。金福童さんは「許す準備は十分できていたのに。金なんか受け取らない」と泣き崩れた。彼女にとって解決とは、加害国の国を代表する者と直接会い、謝罪の言葉を聞き、来てくれたことを労い、許す言葉をかけ、手を握り合うことなのだ。慰安婦問題が公になって30年以上、日本から国を代表して誰も会いに来ていない。

町行く人が言う。「慰安婦って金ばかり欲しいがる人たちでしょう」と。金ばかり欲しいがる日本の国、この日本の人たちにどうして謝罪とは、金をばら撒くことではないのか。

元日本軍「慰安婦」の金福童さんは、その後、人権活動家として活動し、慰安婦問題の運動を代表してきた人だ。彼女は2019年に亡くなったが、生前の様子が多岐ユニメンタリー映画となっている。映画の中で、金



(大野恭子)

党派別比例区の得票数・得票率

	全国総計 (上段は今回、下段は前回2021年)		近畿 (上は今回、下は前回)		兵庫県 (上は今回、下は前回)	
	得票数	得票率%	得票数	得票率%	得票数	得票率%
自民	14,582,690	26.7	1,837,859	20.7	532,662	22.5
	132	59	19,914,883	34.7	2,407,699	27.4
立憲	11,564,298	21.2	1,247,328	14.1	411,706	17.4
	104	44	11,492,115	20	1,090,667	13.4
維新	5,105,127	9.4	2,069,796	23.3	446,210	18.9
	23	15	8,050,830	14	3,180,219	32.1
国民	6,172,358	11.3	739,441	8.3	198,941	8.4
	17	2	2,593,375	4.5	303,478	3.0
公明	5,964,415	10.9	1,030,324	11.6	280,346	11.9
	4	20	7,114,282	12.3	1,155,683	12.3
れいわ	3,805,060	7.0	557,899	6.3	146,780	6.2
	0	9	2,215,648	3.9	292,483	3.3
共産	3,362,966	6.2	649,195	7.3	141,554	6.0
	1	7	4,166,076	7.2	736,156	6.2
参政	1,870,347	3.4	350,211	3.9	96,491	4.1
	0	3	—	—	—	—
保守	1,145,622	2.1	288,326	3.3	78,411	3.3
	1	2	—	—	—	—
社民	934,598	1.8	99,161	1.1	31,034	1.3
	1	0	1,018,588	1.1	100,980	1.2

※政党名枠内の上段数字は小選挙区、中段は比例区での当選者数。下段は近畿ブロックでの当選者数

傲慢と善良

原作は、「かがみの孤城」「ハケンアニメ!」などのヒット作品が多くある辻村深月氏であり、本作は100万部を超す売り上げとなっているベストセラー小説の映画化である。

監督は、「ブルーピリオド」(2024年公開)な

「婚活」アプリで出会うことができた女性は控えて、めど気が利く坂庭真実(奈緒)。その彼女とつきあいを始めることになる。そんな西澤だが、なぜか彼女との結婚を1年も経っているのにためらって、踏み切れない。そんなとき突然、真実から「私は今、誰か分からない男の人からつきまといわれている」と、ストーリーの存在を知らされるのであった。

ある夜、真実から「架くん、怖い。助けて」と恐怖に怯えた声が西澤のスマホへ届くのだ。「あいつが家の中にいる



「真実ちゃん、今どこにいますか?」架くんの近くに、真実が何とも言わずに姿を消してしまっ

乗った。ごめん、架の家に行ってもいい?」「いいよ。もちろん、それはいいけど」。架は真実に、「もし、先に真実ちゃんが家に着いたら俺の家の前でタクシーを停めたままにして乗ってくれ」。真実は「わかった。ただ、だけど、お願い。早く来て!」と悲鳴をあげた。「助けて」「私を助けて」。

その夜の事があって架は真実を守らなければならぬと思いつき、慌てて駆けつけた。真実が何とも言わずに姿を消してしまっ

シネマランド

ミステリー仕立てのラブ・ストーリー

監督 萩原健太郎 / 2024年 / 日本 / 9分